

地域と神社のつながりを大切に、太鼓文化の継承を

宗像神社太鼓保存会

この保存会は、昭和 49 年に地域の有志がこれまでの太鼓文化の継承を目的に発足。宗像太鼓自体は、昭和 9 年に奉納された太鼓からはじまり、当時の神社総代や町内の世話人が中心となって活動が始まりました。



現在は小学生から高校生までの 8 名と大人 17 名が所属。最年少は小学 2 年生、最高齢は 75 歳で、世代を超えた交流が魅力です。

演目は伝統曲 8 曲に加えて創作曲もあり、地域の祭りや清水和太鼓連絡会の演奏会にも参加します。



会費と神社からの支援で活動資金を賄い、後継者育成と創作曲の追加を目指しています。

近隣の小学校や交流館にチラシを配布して見学者の増加に努めていますが、継続的に活動してくれる会員の確保が課題。地域の人たちと宗像神社のつながりを大切にしながら、太鼓文化の継承に力を注いでいる団体です。

レポート担当は
伊藤でした。

⇒
こんな想像を
いていたが、
太鼓は
叩かなかったらしい

